



2009年2月1日  
株式会社ブロードバンドセキュリティ

## BEX 事業譲渡に関するご連絡

お客様各位

拝啓 貴社 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は昨年9月よりBEX事業の譲渡に関し、複数社と協議を重ねてまいりましたが、この度その中の1社である(株)NTTPC コミュニケーションズ様との間に譲渡の合意が得られ、平成21年2月1日をもって本事業を譲渡することに相成りました。

ここに至りました背景と、事業者選定の理由につきまして下記に説明させていただきます。

敬具

—記—

### 1. 背景

BEX サービスは、大規模な通信回線サービスであり、設備産業にあたります。7年前に、NEC 様、松下電器様、インターネット総合研究所様などから大きな投資を実施していただき、本サービスを開始し、その後も必要に応じ、数億円規模の投資を継続してまいりました。そして、今後についても設備の老朽化対応と今後必要とされるIPv6 対応などで多額の投資が見込まれます。

しかしながら、皆様よくご存知のように、金融危機に伴う信用収縮の現環境下では投資に必要な大規模な資金調達は、当社規模では極めて困難であることが予想されます。

そのような状況におきまして、今後弊社が十分な設備投資を行わず、お客様の変化するニーズに十分応えることができない、若しくは、お客様満足度を維持できない、という場合には結果的にお客様に大きな迷惑をお掛けすることになってしまいます。

であるならば、お客様各位にご満足頂きサービスをご提供出来ている段階で、今後も継続して本サービスを提供できるだろう通信事業者へ本事業を譲渡し、安定的に本サービスを継続していただこうと判断しました。それが、これまで弊社をご利用頂いたお客様への責任であるとも考えた次第です。

### 2. 譲渡事業先の選定

昨年9月よりのべ4社の事業者からオファーをいただき、最終的にNTTPC コミュニケーションズ様に譲渡することに決定いたしました。その理由としましては、なんとと言っても、NTTの冠を拝しており、その企業体力から今後お客様に安定的・継続的に本サービスを提供できることにあります。もちろん、今の提供料金やSLA(サービスレベルアグリーメント)はそのまま継続していただけますし、今後のIPv6対応などにも柔軟、且つタイムリーに対応していただけるものと確信しております。

以上

追記といたしまして、今回のBEXサービスの譲渡は「経営資源を集中する」という目的もございます。近々に立ち上げを予定しておりますSOC (Security-Operation-Center)や、現在展開中のASP型Webサイト脆弱性診断サービス「Cracker Guard」、他のセキュリティビジネスに当社の経営資源であります技術者を集中し、お客様各位により充実したセキュリティサービスを展開させて頂きましますので、今後とも、倍旧のお引き立てをお願い申し上げます。